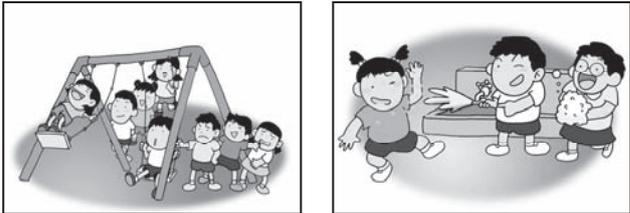
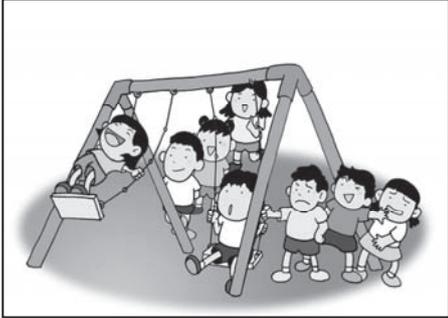


分類	3-(1) 3-(2)	資料名	あそびの中で
資料について	 <p style="text-align: center;">生活パネル 6場面</p>		<p>「生活パネル」は、屋内や屋外の幼児の生活の様子が6場面描かれています。</p> <p>友だちとの関わり方や生活のルールについて話し合うために作成したものです。</p> <p>必要に応じて、「友だちカード」を、自分や友だちの気持ちに気づき合うための話し合いに活用できます。</p>
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 生活のきまりを知り、自分のことは自分で行うとする。 遊びのルールの必要性に気づき、友だちと一緒に考えて行動する。 		
内容	<ul style="list-style-type: none"> 自分で考え、自分の力で行動しようとする。 個人のもので共同のものがあることを知る。 きまりの必要性を理解し、守ろうとする。 相手の立場に立ったり、気持ちを理解したりする。 		
指導の観点	<ul style="list-style-type: none"> 身辺自立の確立とともに遊びや生活のルールやマナーを知り、守ろうとする気持ちを育てる。 自分の思いを素直に伝えたり、お互いの思いが感じ合えたりできる環境作りに努める。 仲間とともに気持ちを合わせたり考えを出し合ったりして、意欲的に取り組む姿勢を育てる。 		
	活 動 内 容	環 境 の 構 成 ・ 教 師 の 援 助	
展 開	<p>① 「ブランコ遊び」「砂場遊び」「おにごっこ」「手洗い場」「スリッパ並べ」「積み木遊び」の6枚の「生活パネル」と「友だちカード」を使い話し合う。</p> <p>○「ブランコ遊び」を見て話し合う。</p>		<ul style="list-style-type: none"> * 特に、年度始めに見られる幼児の姿や、トラブルが起きたときなど、遊びの振り返りやクラスでの話し合いに活用する。 □ 「生活パネル」を見せ、幼児が気づいたことを話したり、友だちの話を聞いたりする場を設ける。 □ 必要に応じて「友だちカード」を活用する。友だちの表情や気持ちを、自分のこととして考えられるように声をかける。
例			<ul style="list-style-type: none"> * A：順番を守ってブランコ遊びを楽しんでいる幼児のグループ B：いつまでも交替しない子や、順番ぬかしをしている幼児のグループ

	活 動 内 容	環 境 の 構 成 ・ 教 師 の 援 助
展	<p>教師：ブランコで遊んでいるね。どんな子がいるかな。</p> <p>【予想される幼児の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しそうに乗っている。 ・順番に並んで待っている。 ・順番をぬかしている子がいる。 ・ブランコをとろうとしている子がいる。 ・ブランコを交替しない子がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 幼児が話しやすい雰囲気をつくりながら、幼児の気づきをもとに話し合う。 □ 順番を守らなかったり、取られそうになったりしたときの気持ちを、「友だちカード」を活用して、伝えられるようにする。
	<p>教師：みんな、ブランコが好きなのよね。でも、ブランコを交替しない子もいるね。こんなとき、みんなはどうすればいいのかな。</p> <p>【予想される幼児の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・順番は守らないといけないんだよ。 ・並んでみんなと一緒に待つんだよ。 ・長い間乗ると、みんなが乗れないよ。 ・並んでいる子全部が乗れるようにしないとけない。 ・数を〇まで数えたら交替しよう。 ・歌を一曲歌ったら交替しよう。 <p>○「砂場遊び」を見て話し合う。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> □ 順番を待つ子も待てない子も、みんなブランコに乗りたいたいという気持ちであることに気づかせ、どうすればよいかを話し合う。 □ 集団生活をするには、みんなが守らなければいけないルールがあることに気づかせる。 * 実際の遊びの場では、個々の幼児の特性に配慮しながら、その幼児も理解しやすいルールを工夫する。 <p>* A：砂山が壊されている場面 B：ホースの水が友だちにかかっている場面 C：遊びの仲間に入れない子がいる場面</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 3つの場面に焦点を定めて、それぞれの気持ちに気づけるよう話し合う。 □ 幼児が自分の考えを話せるよう、時間的にゆとりをもって、パネルを掲示する。
例	<p>教師：砂場で遊んでいるね。どんな子がいるかな。</p> <p>【予想される幼児の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな山を作っている。 ・山を壊している子がいるよ。 ・山を壊されて、嫌がっている子がいる。 ・ホースの水が、友だちにかかっている。 ・遊びたいのに入れない子もいるよ。 	<ul style="list-style-type: none"> □ どの場面の様子に気づいているのか、幼児の様子に合わせて、パネルの人物を確認するなどの工夫をする。

	活 動 内 容	環 境 の 構 成 ・ 教 師 の 援 助
展	<p>教師：山を作って遊んでいる子がいるね。何か、気がついたことはあるかな。</p> <p>【予想される幼児の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・せっかく山を作ったのに、壊している。 ・壊さないで、と言っている子がいる。 ・なんで、壊しているのだろう。 ・恐竜になって、壊しているのかなあ。 ・トンネルが上手く作れなくて、腹がたって壊したのかなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 何故、山を壊しているのか、その理由について、自分の経験と重ねて考えられるようにする。 □ 山を壊している幼児の行動を責めるのではなく、幼児の気持ちに気づくことができる話し合いにしていく。
	<p>教師：こんなときは、どうしたらいいのかな。</p> <p>【予想される幼児の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・せっかく大きな山ができたのに、どうして壊すの？と聞く。 ・もし、トンネルができなくて腹をたてているのなら、壊さないで一緒に作ろうと言う。 ・恐竜になっているのなら、この山は壊して欲しくない。壊しても良い山を作ろうと言う。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 相手に理由を聞くことで、相手の気持ちを知ることができることに気づかせる。 □ 相手の思いを受け止め、どうすればよいか考えたり、お互いに折り合いをつけたり、相手に嫌な思いをさせたことを素直に謝ったりするコミュニケーション力を育てていく。 □ 自分たちの遊びの中でも同じようなことがあることに気づかせ、どうしたらみんなで楽しく遊べるかを考えさせる。
開	<p>教師：ホースの水がかかっている子がいるね。どうして水がかかったのかな。</p> <p>【予想される幼児の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホースでバケツに水を入れようとして、友だちにかけてしまった。 ・顔に水がかかって泣いている。 ・ホースを持っている子は、水がかかった子に気づいていないよ。 	<ul style="list-style-type: none"> □ わざとホースの水をかけたのではないことに気づかせる。 □ 幼児の生活の中でも、偶然、相手にとって嫌なことをしてしまうことがある。その時に、相手の気持ちに気づかせたり、相手に対してどうしたらいいのかを話し合わせたりする。
	<p>教師：こんな時は、どうしたらいいのかな。</p> <p>【予想される幼児の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わざと水をかけたのではなく、謝らないといけない。 ・ホースから水を入れる時は、周りに友だちがいなくてよく見ないとけない。 ・水は、いきなりホースから入れない方がいいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 相手に迷惑をかけたときは素直に謝ったり、相手の気持ちを受けて許したりするなど、お互いに許し合える仲間づくりが大切であることに気づかせる。 □ 水をホースからバケツに入れるのではなく、タライに水を溜めたりバケツで汲んだりするなど、幼児とともにルールを考える。
例		

	活 動 内 容	環 境 の 構 成 ・ 教 師 の 援 助
展 開	<p>教師：外へ遊びに行こうとしたら、遅れてしまっている子がいるね。 この子は、何を考えているのかな。</p> <p>【予想される幼児の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「待って!」と言っている。 ・まだ靴を履いていないから、外に出られないと思っている。 ・友だちは「早くおいで。」と言ってくれている。 ・急いで靴をはいて、出かけるといいと思う。 <p>○ 「手洗い場」を見て話し合う。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> □ 行動が早い幼児とゆっくりしている幼児等の違いを認め合ったり、許し合える友だち関係を築いていく。 □ 友だちが先に出かけてしまっても、気にせず追いかけたり後から仲間に入ったりする気持ちを持てるよう、幼児の特性に合わせて支える。 <p>* 手洗い場で、幼児が水を友だちにかけたり、石けんで遊んだりしている場面</p>
	<p>教師：手を洗うために、手洗い場にいます。どんな子がいるのかな。</p> <p>【予想される幼児の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水を飛ばしている子がいる。 ・服が濡れている子がいる。 ・手が泡だらけの子が、水を飛ばしている様子を笑って見ている。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 「友だちカード」を使い、水を飛ばしている子とかけられている子、それを見ている子のそれぞれの気持ちを表現させる。
例	<p>教師：水を飛ばしている子や、水を飛ばしているのを笑って見ている子がいるね。 みんなは、この子たちに何と言いますか。</p> <p>【予想される幼児の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「してはいけないよ。」と言う。 ・「服が濡れてしまってかわいそうだよ。」と言う。 ・笑って見ているのはダメだよ。「しちゃダメ。」って言わないといけないよ。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 人の嫌がることをしないことや、ルールを守ることの大切さに気づかせる。 □ 嫌な思いをしている友だちがいることに気づいたときは相手に注意することや、注意されたときには素直に謝ることの大切さに気づかせる。 □ 自分がされて嫌なことに対しては、「やめて欲しい。」と自分の気持ちを伝えることの大切さに気づかせる。

	活 動 内 容	環 境 の 構 成 ・ 教 師 の 援 助
展	<p>○ 「スリッパ並べ」を見て話し合う。</p> 	<p>* A : スリッパを整頓している子 B : スリッパを散らかしている子 C : スリッパが揃っていないので、履くときに困っている子</p>
	<p>教師：スリッパを履こうとしています。どんな子がいるかな。</p> <p>【予想される幼児の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スリッパを脱ぎ散らかしている。 ・履こうとしたら、スリッパがバラバラだから困っている。 ・ちゃんと揃えている子がいる。 <p>教師：では、自分が使ったスリッパを脱ぐときは、どうすればいいのかな。</p> <p>【予想される幼児の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スリッパは、揃えるんだよ。 ・スリッパは向きがあるんだよ。 ・はきやすいように、揃えて並べる。 	<p>□ スリッパ並べは、次に使う友だちが気持ちよく使えるようにと、見えない相手のことを思っている行動である。なぜスリッパを並べることが必要なのか、年齢に合った話し合いにより気づかせる。</p> <p>□ 集団で生活するには、自分のことだけでなく周りの人のことも考えて行動しないといけないことを、自分たちの生活を振り返ることで気づかせる。</p>
例	<p>○ 「積み木遊び」を見て話し合う。</p> 	<p>* A : 積み木を片づけている子 B : 積み木を片づけている子に気づかず、遊び続けている子 C : 積み木箱の場所を教えている子</p>

	活 動 内 容	環 境 の 構 成 ・ 教 師 の 援 助
展 開 例	<p>教師：積み木遊びの片づけの時間になりました。どんな子がいるかな。</p> <p>【予想される幼児の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積み木を片づけている。 ・まだ遊んでいる子がいる。 ・片づける場所を教えている子がいる。 	<p>□ 幼児の中には、楽しく遊んだことに満足して片づける幼児もいれば、集中して遊んでいる幼児もいる。それぞれの幼児の状況や特性、思いを受け止めながら、片づけができるよう支えていく。</p>
	<p>教師：みんなが片づけていることに気づいていない子がいますね。どうすればよいのかな。</p> <p>【予想される幼児の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「片づけの時間だよ。」って知らせる。 ・「みんな片づけてるよ。」って教える。 ・「あそこに片づけるんだよ。」って言う。 	<p>□ 片づけに気づかず、集中して遊んでいる幼児について話し合う。周りの様子に気づいていない友だちに気づいたときには、知らせたり伝えたりすることの大切さに気づかせる。</p> <p>□ 友だちにどんな言い方をすれば分かってもらえるかを話し合い、相手の気持ちや相手の立場に立ち考えることができるようにする。</p> <p>□ 友だちの行動に関心をもって関わられるような、温かな人間関係を築くようにする。</p>
資料の活用について	<p>○「生活パネル」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外の幼児の姿として、「ブランコ遊び」、「砂場遊び」、「おにごっこ」を描いている。 ・屋内の幼児の姿として、「手洗い場」、「スリッパ並べ」、「積み木遊び」を描いている。 ・遊具の遊び方や生活のルールなどが共通理解できるよう、遊びの振り返りなどの話し合いで「生活パネル」を使用する。 ・楽しそうにしている幼児、周りの友だちに迷惑をかけている幼児など、様々な遊びの場面がある。それぞれの場面と幼児の生活とを重ね合わせながら、どちらの幼児の思いにも気づき、豊かな人間関係づくりが図れるように教師が働きかける。 ・特に年度当初の遊びの様子から、友だちの気持ちに気づけるよう、必要に応じて「生活パネル」と「友だちカード」を併用する。 	